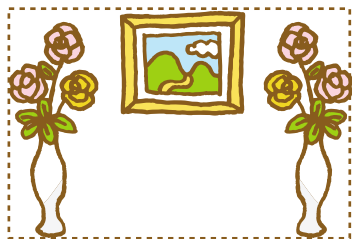


華のある生活 〈インテリアと花のバランス〉

春に芽吹いた木々の葉が、次第に大きく濃くなりながら夏の木陰づくりを急いでいるかのようにからだ全体を広げています。日々の暮らしの中にもほんの少し季節の変化をとりこんだら、見慣れたはずのインテリアにも新鮮さや彩りが加わるものです。今回は心を豊かにするとともに、来客時にはセンスの良さが際だつ「花の飾り方」について考えてみます。

「さりげなく」が素敵

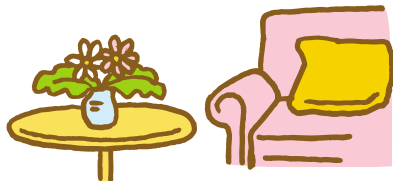
花を飾ると聞いて私たちがまず思い浮かべるのが玄関やテーブルの上。しかも来客の時などはつい、華やかにしすぎてしまいがちです。もっとさりげなく、まるでインテリアの一部のような演出で花を飾れたらどんなに素敵でしょう。場所は例えば窓のそば。太陽光にきらめいて花がとても生き生きとした表情になります。それからキッチンや洗面所などの水回りもナチュラルな印象で好感度が高いようです。また、使わないイスの上に置いたり、テーブルやチェストの上の小物にさりげなく紛れ込ませてもおかいいですね。もちろん、お部屋のインテリアとのバランスは大切ですから、前号と前々号「バランスの基本」でご紹介した左右対称の配置や、三角形を意識した配置、見る人の視線より下へ配置するといったポイントをぜひ参考になさってください。



1 上品な華やかさとバランスの美しさは、やはりシンメトリーがいちばん。



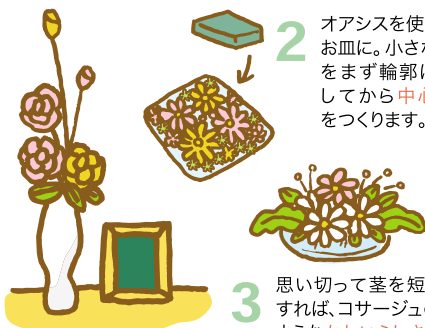
2 小物を使って三角形に配置すると自然なバランスに。



3 テーブルにおく場合は、座った人の視線よりも高くならないように。

意外さでセンスを発揮

花を生けるためにわざわざ花瓶を用意する必要はありません。カップや空き瓶、ボウル、深皿など、ほんの少し深さがあるものなら何でもOKです。直接水を入れられないものでも内側に厚めのビニールを張ったり、オアシスをアルミ箔で包んで入れたり、防水対策をすれば大丈夫。口の広い器に少量の花を差す場合は剣山やオアシス、ビー玉などを入れて固定させることで思い通りのアレンジができます。また、花束のようにこんもりと飾りつけたい時には、セロテープを口に格子状に張れば均等に花が差せますし、あらかじめゴムなどで茎をしばってまとめたものをそのまま差してもいいでしょう。いずれも見えない部分やごちゃつく部分の茎や葉を思い切って取り除き、茎ばかり目立つところは花で隠すなど、すっきりと表情豊かに見せる工夫が大切です。



2 オアシスを使ってお皿に。小さな花をまず輪郭に差してから中心部をつくります。

3 思い切って茎を短くすれば、コサージュのようなかわいらしさに。

1 つぼみは高い位置に、大きな花は下にもつくと重心のバランスがとれます。

4 口の広い器は花を低く、あふれるように生けるのがコツ。



5 高さやボリュームをかえていくつかに分けると楽しい雰囲気。

